

## コロナ禍の認知症医療に思う

前回の広報誌では、急性期の脳梗塞に対する血管内治療についてお話させていただきました。ここ数年、全世界をも苦しめるコロナ禍においても、主幹血管閉塞に対しての血管内治療の有効性については確固とした地位を築いており、治療適応のある患者様には提供すべき治療となっております。現在はコロナの第6波が過ぎましたが（小生がこの原稿を執筆している現時点で）第7波の懸念が囁かれており、未だに以前のような活気ある生活を取り戻せていないのが現状と考えられます。このコロナ禍において、ご高齢の患者様、特に認知症をお持ちの患者様、そのご家族様におかれましては非常に煽りを受けておられるのではと考えております。

小生は冒頭に記しました通り、血管内治療の専門医として微力ながら治療の提供をさせて頂いております。また、昨年に日本認知症学会専門医も取得させて頂きました。皆様もご存じの通り、現在の日本は「超」がつく「高齢者社会」となっております。中でも最近の健康志向で平均寿命の伸びもそうですが、健康寿命が以前より高くなっているのも事実です。しかし、一方で認知症患者様の増加も浮き彫りとなっております。2012年の厚生労働省調査では462万人の認知症患者様が報告されていますが、団塊の世代が後期高齢者に差し掛かる2025年には700万人に達すると予測されています。代表的な認知症としては、アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、脳血管性認知症などが挙げられます。アルツハイマー病は、組織的には老人斑（アミロイドβの斑状蓄積）と神経原繊維変化（タウタンパクの繊維状凝集体）の多発を特徴としています。そのアミロイドβに対する抗体医薬がアメリカFDA（食品医薬品局）によりMCI（軽度認知障害）期から軽症認知症期のアルツハイマー病の方を対象に迅速承認されたことは記憶に新しいところです。日々の研究により治療法が認められていく認知症もあり

## 脳神経外科 医局長

日本脳神経外科学会 専門医・指導医  
日本脳神経血管内治療学会 専門医  
日本認知症学会 専門医

つるたに ひさのぶ  
鶴谷 尚信



ますが、根本的な治療法がなく対症療法にて対応する認知症がほとんどです。対症療法は薬剤中心での対応もあれば、「ヒト対ヒト」とするケアの方法が有用とされるものもあります。例えば、①他者とのコミュニケーションは前頭前野の活性化を高める②認知症患者様の周辺症状（焦燥性興奮、不安、暴力、自発性・発動性低下など）のような混乱した行動の裏には何らかの理由があると考え、「バリテーション」と呼ばれる受容、共感の対応（アイコンタクトやタッチングなども含まれます）を示すことで周辺症状の改善を期待する、などが挙げられます。日常外来診療をしていると、特にご高齢の患者様、また同居されているご家族様よりコロナ禍の影響で外出する機会が減少し、外部との接点が少なくなったとのお嘆きをよく耳に致します。前述したように、認知症対応には「なじみの人との関わり」なども非常に重要であると言われております。また、介護する側にも「レスパイトケア」と呼ばれる、いわゆる「介護の合間の息抜き」が大事と言われております。しかし、それらの状況がコロナ禍により一変し、対人関係の制限などの煽りを受け、認知症に悩まれる方々、そのご家族への負担は計り知れないものがあると思われれます。未だ出口が見えない状況であるからこそ、今一度基本に立ち戻り、感染対策を怠らず、認知症疾患だけではなく「ヒト」と「ヒト」のつながりを感じられるような医療の提供を心掛けて行きたいと考えます。

# 院内トピックス

## 波出石 弘 副院長 着任のお知らせ

2022年4月1日より、脳神経外科 常勤医師として波出石 弘（はでいし ひろむ）副院長が着任いたしました。波出石副院長は、脳神経外科の外来と入院を担当いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 【専門医・資格】

日本脳神経外科学会 専門医・指導医  
日本脳卒中学会 専門医・指導医  
日本脳卒中の外科学会 技術指導医  
日本高気圧環境・潜水医学会 高気圧医学専門医

### 【主な経歴】

2000年4月 秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科科長  
2006年9月 亀田総合病院 脳神経外科主任部長

## 齋藤 博 名誉院長 令和4年春の叙勲・受章のお知らせ

齋藤 博（さいとう ひろし）名誉院長が、令和4年春の叙勲において「瑞宝中綬章」を受章されました。

齋藤名誉院長は、主に独立行政法人国立病院機構・西多賀病院及び宮城病院にて病院長として永年勤務され、その功績が認められ「保健衛生功労」での受章となりました。



### 【齋藤名誉院長より】

令和4年春の叙勲に際し、はからずも瑞宝中綬章拝受の栄に浴すことができましたのも、ひとえに永年にわたる皆様の温かいご指導とご支援の賜物と感謝するのみでございます。この栄誉に恥じることはないよう一層精進し、些かなりとも皆様方のご芳情に報いたいと存じますので、何卒変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 3 階病棟



3階病棟は、救急搬送された方が多く入院している病棟です。

突然の発症により、今までの生活から急な入院となった患者さんやご家族の不安はとて大きなものです。更に、コロナ禍により面会禁止となっているため、ご家族にとって患者さんの状況を知る手段は、看護師から伝えられる情報しかありません。また、患者さんもお家族とコミュニケーションをとる場がなく、疎外感や不安感が増強しています。そのため、病棟看護師の果たす役割は重要です。ご家族が来院した際は、患者さんの様子や現在の治療内容などを分かりやすい言葉でお伝えするように努め、週1回のリモート面会では、緊張している患者さんや介助が必要な患者さんには、そばに寄り添いご家族との大切な時間をお手伝いしています。画面越しではなかなか伝わりにくい患者さんの表情や小さなしぐさの変化をリモート面会終了後に直接お伝えする事もあります。小さな変化でもご家族にとっては大きな喜びに繋がります。患者さんとお家族が、直接コミュニケーションが取れる環境になることを願いつつ、私たちは日々観察力と看護技術を磨き、療養生活の支えとなれるよう努力していきたく思います。

(3階病棟 看護師長：岡本 直美)

私事ですが、今年の1月に出産し、6月から職場復帰致しました。約10年ぶりの出産で、なおかつコロナ禍ということもあり、不安だらけの出産でしたが、産婦人科医、助産師さん方に助けられ無事に出産でき、母子ともに健康です。この未曾有の感染症に際し、当院も含めて医療従事者の方々の並々ならぬ努力によって私たちの健康が支えられているのだということを改めて実感しました。

これからも感染対策に気を付けて生活していくことを心がけたいと思います。  
(地域医療連携室：西本 明日香)

### 仙台東脳神経外科病院

〒983-0821

宮城県仙台市宮城野区岩切1丁目12番1号

Tel : 022-255-7117 (代表) Fax : 022-255-7760

### 【関連施設】

### 仙台リハビリテーション病院

〒981-3341

宮城県富谷市成田1丁目3番1号

Tel : 022-351-8118 (代表) Fax : 022-351-8126